

モノづくりから価値づくりへ、  
時代を一步リードする樹脂加工技術

# 使つて喜んでいただける 製品づくりを

城南樹脂工業

城南樹脂工業（座間市相模が丘、澤田光喜社長、046・254・1711）は、昭和29年に澤田弘現会長が東京大田区に合成樹脂加工の会社を創業して以来半世紀以上に亘り、プラスチック等合成樹脂板加工を中心としたハイクオリティな精密加工技術で、通信・電気機器業界とともに歩んできた。

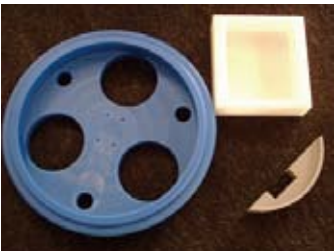
同社の経営理念は、二宮尊徳の教えにある「すべて商売は、売って喜び、買って喜ぶようにすべし。売りにて喜び、買って喜ばざるは道にあらず」。取引先と共存共栄を図るべく、創業以来、常にユーザーの立場に立って、人と技術の豊かな調和を求め続けている。単なる“モノづくり”のハード面に留まらず、企画やデザイン段階での技術的な

密切削加工の技術・曲げ加工や接着などの手加工の技術・レーザー加工・圧空真空成形技術を活かして、電子部品の高機能メッキ用バレルや駆動部の設計・製造を社内にて一貫して行う。また、メッキ液の種類により、アクリル・PP・PVC等各種の板材質での製作が可能で、ピンや電子部品等極小物のメッキ用小型バレルからボルト・自動車部品等のメッキ用大型バレルまで、高度な技術と生産設備を兼ね備えて、取引先の多様なニーズに対応している。

「これからも常に時代を一步リードする技術で新たな価値を創造し、取引先に満足していただける会社を目指していきたい」と澤田社長は力を込める。

アドバイスをする等ソフト面からも多角的なアプローチを行い、デザイン的にも機能的にもより付加価値を高めて「お客様に使って喜んでいただける製品づくり」の環境を整備している。

NC装置による精



同社の優れた技術力が窺える製品の数々